

<基本情報>

所在地：鹿児島県屋久島町

<農場概要>

- 有機 J A S 認証圃場面積：12ha（1枚の圃場面積10a程度）
- ばれいしょ4ha、ウコン1ha、かんしょ50a
- ウコンは、粉末に加工し販売（有機加工 J A S 認証を取得）

集落の象徴ともいえる美しい山「モッチョム岳」。

農園の名前にも、お借りしています。



<有機農業に取組むきっかけ>

- 慣行栽培のばれいしょの価格が半値に下がった時期に、知人が栽培する有機栽培のばれいしょの価格は、下がらず取引されていた。このことから、経営の安定を図るため有機農業を始めようと決意。
- **平成15年（2003年）に有機 J A S 認証を取得。**

<販売について>

- 販売する全商品が有機 J A S 認証品。うち、約5割をかごしま有機生産組合へ出荷。
- 付加価値を付け収益向上を図るため、ウコンの粉末加工場を平成29年（2017年）に整備し、**平成30年（2018年）に有機加工食品 J A S 認証を取得。**
- ウコンの粉末加工は、主に卸業者に販売。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
ばれいしょは、疫病対策として、石灰ボルドーを使用。
かんしょは、10倍希釈の食酢を使用。
- **雑草対策**
ばれいしょは、2回の培土（土寄せ）で効果あり。
かんしょは、畦間を1mに設定し通行可能な小型トラクターによる除草を行うことで、労力軽減及び作業時間の短縮を実現。
- **土づくり**
全品目で鶏糞を主に使用するほか、雑草をすきこみ緑肥として活用。圃場は3年に1回の輪作（ばれいしょの後に、かんしょとウコンの作付）とし、12haのうち3分の1程度の圃場は、可能な限り2年間休ませる方法をとっている。その間、雑草を繁茂させ緑肥等にするなど、自然の力を活かした地力回復を実施。

<苦労しているところ>

- 圃場1枚の面積が10a程度と小さく、作業効率が非常に悪い。

<今後の展開>

- 新しい品目として、モリンガ（薬用作物の一種）の栽培を始めたので、付加価値を付けた販売に繋げる。
- 長命草（薬用作物の一種）の栽培予定。

